

濱口梧陵 はまぐち 儒者。文政三年六月十五日紀伊國有田郡廣村生れ、
明治十八年四月二十一日歿（一八〇一—八五）。講成則、宇公輿、幼名七太、
儀太郎、通稱儀兵衛、のち梧陵。湯沢醬油醸造元に生れ、學問を好ん
で江戸で文武を修める。開國論者で海防に通じた。嘉永五年耐久舎を
設けて郷里の青年を教育、おのち農兵を組織して外國の侵略に備へた。
安政五年大防波堤を建造、江戸の種痘所を再建するほどの社會事業に
も貢獻。更に藩の内外を問はず皆英資金を據出、勝海舟もその援助を
受けたといふ。明治二年和歌山藩の漢學所學習館知事、翌年イギリス
人サンダースを招き英語學校共立學舎を設けしめた。のち藩大參事、和
歌山縣議會初代議長等歴任。十七年アメリカに渡り、翌年ニューヨーク
ケで客死。

『濱口梧陵小傳』（昭和九年四月二十一日杉村廣太郎編刊、濱口梧陵
翁五十年祭協賛會）がある。